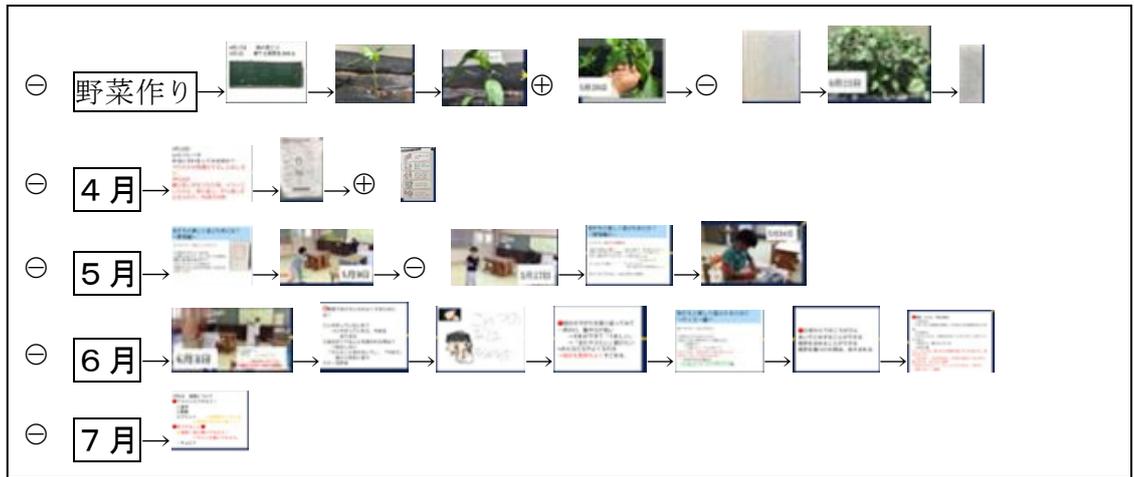


③月、単元ごとにロイロノートにまとめ、学習の軌跡とする。



《子どもの変容》

当該児童は、自分が褒められている嬉しさもあり、過去の映像を何度も見返そうとする様子が見られた。また同様の活動をする時に、前回褒められた自分の行動を繰り返そうとする姿が見られ、一緒に遊ぶ児童が変わっても繰り返し実践しようとする態度が見られた。

成果と課題・
今後の方向

《指導の成果・課題》

褒められた自分の姿を何度も見直すことで、自分自身を認め、自信と実践意欲へとつなげることができた。また、同様の状況になった時に、望ましい言動を促すきっかけとしても活用することができた。

友だちとの関わりの中で、上手くいかないことが生じた時の解決方法を見つけることができずに、衝動的に行動してしまう場面が見られた。トラブルになった時の解決方法や、気持ちを落ち着かせる方法等を提示し、自分で心理的な安定の確保をできるようになることが、今後の課題である。

《今後の取組》

- ・活動に入る前に、上手くいった自分の過去の姿を振り返ることで自分を認め、友だちとの関わりをスムーズにする。
- ・友だちと喧嘩にならないための手段を、実際にあったケースごとに振り返って考えさせ、トラブル解決のための手段を獲得させる。
- ・当該児童の得意なことや、課題となる行動に着目した“トークンエコノミー法”に取り組ませることで、目標となる行動の強化を図る。